



深川 高志

次期市長選挙に出馬の
意向は

市長 4期目に向けて
再度チャレンジしていく

深川 初代市長として、

今日まで小城市の活性化のため、企業誘致、まちなか環境整備及び子育てしやすいまち、安心して暮らせるまちづくりを基本方針として、さまざま

な施策に着手された。しかし、まだまだ小城市としての課題も残っている。29年3月の次期市長選挙に出馬されるのか。

市長 課題も山積をしている。運動公園跡地の利活用についても、私が旧町時代に判断したことであり、責任を持って考えていくべきと思っ

てい。また、アイルの資源磨きも本年度基本計画が示されて、計画に沿った

事業規模、予算規模を出さなくてはと思っ

てい。これはアイルだけでなく、小城市全体の地方創生に資するプロジェクトと思う。その他にも



▲4回目の市長選挙を迎える市庁舎

議会改革特別委員会報告

議員定数等の調査結果を議長に報告

議会改革については、26年4月に議会改革検討委員会を立ち上げてこれまで様々な改革を行ってきた。残す検討課題が議員定数となった時点で28年9月、議会改革特別委員会(委員長 北島文孝議員)を設置し、議員定数と議員報酬等について協議を行い、次のような結果を12月9日議長に報告した。

《議員定数について》

県内他市議会及び九州管内の類似団体等を参考に協議した結果、次期一般選挙より議員定数を現在より2人減の20人とする。

《議員報酬について》

議員報酬は18年3月の特別報酬審議会の答申の額から減額支給している。近隣類似団体の議員報酬の推移を参考に小城市特別報酬等審議会に諮問を申し出る。

《政務活動費について》

制度の必要性については十分認識しているが、昨今の社会情勢を鑑み、今後の検討課題とする。

《費用弁償について》

職務を遂行する上での費用を弁償するものであり、現行どおり支給する。



▲特別委員会(12人)での審議



▲議長への報告